



NO. 6

令和元年10月1日

神根小だより 10月号 川口市立神根小学校

在籍児童数 男子(177)名 女子(140)名 計(317)名 16学級

「学力向上にむけて」

校長 中村 義郎

秋分の日を過ぎ、朝晩の涼しさ、そして時折吹く風に秋を感じられるようになってきました。

10月は、各学年において、校外学習が計画されています。子供たちが、学校を離れ、公共の場等で学習活動をするにより、多くのことを学び、成長できるよう支援していきます。

さて、学校では児童の学力・学習状況を把握し、指導に生かすため、学力に関する調査を毎年実施しています。主に6年生の全国学力学習状況調査、4～6年生の県学力学習状況調査です。

今年度実施したこれらの調査結果では、本校児童の国語科・算数科の正答率は川口市の平均を下回る結果となっていました。また、国語科と算数科の正答率を比較しますと国語科に課題があることも明らかになりました。この結果を学校全体の傾向・課題と捉え、児童の生きる力の重要な要素である確かな学力の定着に向けて、全校をあげて取り組んでまいります。

これらの学力・学習状況調査は、単に知識や理解を問うだけではなく、変化の激しいこれからの時代を生きるために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題が多く出題されています。すなわち、これらの調査で求められる力は、次代を生きる子供たちに必要な力ということです。

そこで、本校では、夏休みの教職員の研修において、教員自らが学力・学習状況調査の問題を解き、その傾向をつかみ、今後、子供たちに身に付けさせるべき力について、理解を深めました。また、より一層、学力向上の成果をあげるために、次のような取組を新たに行うことにしました。

国語科では、詩の暗唱に取り組めます。毎月、学年の実態に応じて1～2編の詩を声に出し、読み、覚えます。主に国語の授業の冒頭5分程で取り組む予定です。詩のもつ日本語の美しさやリズム、優れた表現にふれ、覚えることによって、言語力を高め、自分の表現に生かせるようにすることがねらいです。宿題に出すこともあるかもしれませんが、その際は聞いていただき、励ましていただければ幸いです。

また、毎週水曜日の朝のパワーアップタイムでは、文を書き写す「視写」を行います。教材文の表現を自分の表現に生かすこと、文字を書くことで集中力を養うことがねらいです。これまで同様、月曜日の朝は読み聞かせ、火曜日の朝は読書タイムを継続します。

算数科では、金曜日の算数タイムで、計算プリントに取り組み、基礎的な力を養います。この計算プリントは、本校で採用した算数教材と連動しており、習熟度別に用意されていますので、今後、活用方法をさらに工夫していく予定です。

これらの取組に加え、各教科の授業の流れを明確にした「学力向上プラン」を改善し、児童の思考力・判断力・表現力、そして学ぶ意欲を育む授業改善の実現にも取り組んで参ります。

バランスのとれた学力の育成に、力を尽くしていきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

市内において小学生が犠牲となる痛ましい交通事故が発生しました。安全な自転車の乗り方や歩行について、ご家庭でもご確認をお願いします。また、戸塚安行地区における刃物所持した不審者の情報は引き続き寄せられています。学校では、学年内で下校時刻を揃え、同じ方向の子が一緒に帰るよう声がけをしています。今後とも保護者・地域の皆様の見守りについてもご協力をお願いいたします。